

学力以上に人間力が重要

豊橋で中村県議の時局講演会

教育語る中曽根衆院議員

豊橋市選出の中村章彦県議(自民)の時局講演会が7月30日、豊橋市の「ホテルアークリッシュ豊橋」で開かれた。165人の支援者らが集まり、講師として招かれた元防衛政務官の中曽根康隆衆院議員が、日本の国家戦略と若者の意識改革について語った。

中村氏は政治生活20年を振り返り、自身のライフワークである人口問題をとり上げた。少子化の背景には未婚率の上昇があるとし、自身が推進した県のマッチングアプリ「あいマリ」の成果を紹介。そのうえで、今後の重要テーマとして「教育」を掲げ「算数や漢字の能力以上に、社会を支える一人の大人としての人間性を磨く教育が必要だ」と訴えた。

中曽根氏は、日本の若者の自己肯定感が諸外国より著しく低いというデータを示し、過度な同調圧力や失敗を許さない減点主義が挑戦意欲を削いでいると指摘。「失敗を恐れずに挑戦を称える文化を社会全体で取り戻すべきだ」と強調した。

国家戦略については、「依存からの脱却」をキーワードに挙げた。防衛面での日米同盟の深化に加え、エネルギーの多角化や、南鳥島沖で発見されたレアアース資源の活用など、自らの足で立てる国づくりを提唱。さらに、2040年までに国民で370兆円規模の成長投資を行う方針を示し、豊橋市の強みである施設園芸や豊橋技術科学大学との連携を通じた「フィジカルAI」「フードテック」の社会実装に期待を寄せた。



熱弁を振るう中曽根氏
「ホテルアークリッシュ豊橋」で

【岸侑輝】